

# KDbarcode\_DataMatrix

Microsoft WORD/EXCEL のアドイン製品



Kernel Computer System  
カーネルコンピュータシステム株式会社

本社：パッケージ販売部  
〒221-0056  
横浜市神奈川区金港町 6-3 横浜金港町ビル 6F  
TEL：045-442-0500 FAX：045-442-0501  
URL：<http://www.kernelcomputer.co.jp>

## 処理概要

KDbarcode\_datamatrix は Microsoft WORD/EXCEL のアドイン機能を使用してバーコード(DataMatrix)をページまたはセルに貼り付けます。

バーコードデータは Microsoft WORD/EXCEL の任意の位置に記述されている文字列か選択したセルに記述されている文字列やテキストファイルの内容、設定ダイアログに記述されている文字列になります。貼り付けられるバーコードはイメージデータとなっています。



Excel



Word



## 出力可能なバーコードの種類

各バーコードはそれぞれのバーコードの仕様に準拠します。

バーコードの種類	対応バーコードの名称
DATAMATRIX	DataMatrix コード

### 操作例 DataMatrix

品番と商品コードの内容を DataMatrix にする

作成

作成された DataMatrix バーコードはここに貼り付けられるように設定する

バーコードの位置を微調整

※バーコードはイメージで作成されていますので、作成されたバーコードをクリックして移動させることによって位置の微調整ができます。

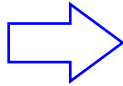
## バーコード取得方法

### 〈カーソルのあるセルから取得する〉

選択されているセルにある文字列をバーコードデータとして使用します。  
Ctrl キーを押しながらセルを選択することにより、複数のセルを選択することが可能です。  
複数選択された場合は、選択されたセルの順番でデータを連結したものをバーコードデータとして使用します。

	A	B
1	acdef	
2		
3		
4		
5		

バーコードの作成



	A	B
1	acdef	
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		

### 〈指定セルから取得する〉

指定されたセルにある文字列をバーコードデータとして使用します。

#### 〈指定方法〉

入力は列行の英数字で指定して下さい。

例：列「B」、行「22」を指定する場合は「B22」と入力して下さい。

#### 〈複数指定の場合〉

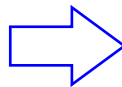
複数のセルを指定したい場合はカンマ[,]で区切って指定してください。

複数指定した場合は、指定したセルの順番でデータを連結したものをバーコードデータとして使用します。

例：列「B」、行「10」と列「A」、行「21」を指定する場合は「B10,A21」と入力して下さい。

	A	B	C
1			
2		品番	名称
3		123456	ABCDEFGH ASD
4		789012	ABCDEFGH
5		345678	HIJKLMN
6		901234	OPQRSTUWVX
7		567890	YZ
8		123456	UIYOTPRI
9		000000	
10			

バーコードの作成



セル「B4」と「C4」を指定します。

	A	B	C
1			
2		品番	名称
3		123456	ABCDEFGH ASD
4		789012	ABCDEFGH
5		345678	HIJKLMN
6		901234	OPQRSTUWVX
7		567890	YZ
8		123456	UIYOTPRI
9		000000	
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

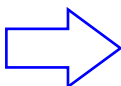
### 〈テキストファイルから取得する〉

指定するテキストファイルの内容はバイナリデータや制御文字等が可能です。  
テキストファイルを使用することにより、改行コードやバイナリデータ等を扱えるようになります。



Sample.txt

バーコードの作成

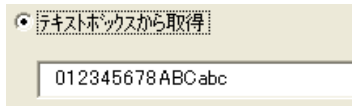


	A	B
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		



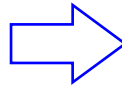
### ＜テキストボックスから取得する＞


バーコードデータを EXCEL のセルやテキストファイルからではなく、テキストボックスから取得します。



012345678ABCabc

バーコードの作成



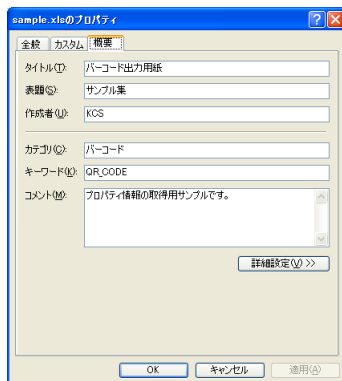
	A	B
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		

### ＜プロパティ情報から取得する＞

バーコード出力をおこなうファイルに設定されているプロパティ情報からデータを取得して、バーコードを作成します。

#### ＜抽出可能なプロパティの項目＞

- ・タイトル
- ・表題
- ・作成者
- ・カテゴリ
- ・キーワード
- ・コメント



sample.xlsのプロパティ

全般 | カスタム | 概要

タイトル①: バーコード出力用紙

表題②: サンプル集

作成者③: KOS

カテゴリ④: バーコード

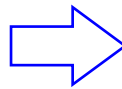
キーワード⑤: QR\_CODE


コメント⑥: プロパティ情報の取得用サンプルです。

詳細設定⑦ >>

OK キャンセル 適用(A)

バーコードの作成



	A	B	C
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			

プロパティに登録されている情報

## バーコードサンプル

- ・出力可能なバーコードの種類は次の通りです。

DataMatrix (正方形, 矩形)

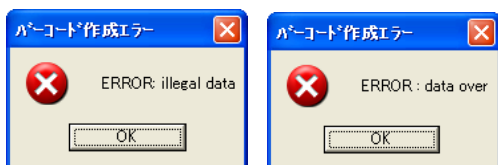


- ・バーコードデータは Microsoft WORD/EXECL の任意の位置に記述されている文字列を指定します。
- ・EXCEL 用の場合は複数のセルからデータを集めて、そのデータをバーコードにすることが可能です。
- ・任意のファイルを指定し、そのファイルの内容をバーコードにすることが可能です。  
ファイルの内容は問いませんが、指定したバーコードの種類で処理できる内容である必要があります。
- ・バーコードの幅、最も細いバー幅を設定することでバーコードのサイズを調整することが可能です
- ・バーコードの向き (0 度, 90 度, 180 度, 270 度) を指定することが可能です。
- ・バーコードの解像度を上げることによって精度を上げることが可能です。
- ・EXCEL 用の場合は複数のシートを一度にまとめて処理することが可能です。
- ・貼り付けられたバーコードを別の場所に移動する場合に、再度バーコードを作成する必要がありません。  
貼り付けられたバーコードをマウスでクリックしたまま移動することが可能です。

## 注意事項

### <共通事項>

- (1) バーコードの解像度が荒い場合、サイズが小さすぎると読み取れない場合があります。  
読み取れない場合は「KDbrcode\_datamatrix(K)」メニューの「設定」をクリックして「KDbrcode\_datamatrix の設定」ダイアログからバーコードの幅、最も細いバー幅、解像度を変更してサイズを調整してください。
- (2) 印刷時には印刷プリンタの解像度、色の濃度により読み取れない場合があります。
- (3) バーコードの種類によっては文字数が決められているものがあります。  
バーコードの文字数が多い場合は「ERROR: illegal data」か「ERROR: data over」が表示されます。



- (4) 選択しているバーコードの種類で使えない文字を指定した場合は「ERROR: illegal data」が表示されます。



- (5) DATAMATRIX の型番選択を指定した場合、バーコードデータが指定された型番に収まらない場合は「ERROR: Type No Small [n]」が表示されます。( [n] の数字はバーコードデータが収まる最小型番を表しています。この型番以上の数値を設定して下さい)



### <EXCEL 用>

- (1) 複数セルを選択する場合は、Ctrl キーを押した状態でひとつずつセルを選択して下さい。  
Shift キーを押しての複数選択やマウスの左ボタンをクリックした状態でマウスを移動しての複数選択には対応していません。
- (2) セルの書式設定で「セルを結合する」を設定して結合しているセルからデータを取得する場合は、「バーコードの取得方法」を「指定セルから取得」に設定してデータの取得を行ってください。  
「カーソルのあるセルから取得」は結合しているセルには対応していません。  
指定するセルアドレスは、結合しているセルの左上のセルアドレスを指定して下さい。  
例えば [A1], [A2] を結合している場合は [A1] を指定して下さい。 [A2], [B2], [C2], [D2] を結合している場合は [A2] を指定して下さい。

<WORD 用>

- (1) バーコードデータとして取得する文字列は半角の[""]（ダブルコーテーション）で囲まれている必要があります。  
例：“12345678”  
注：ツールメニューのオートコレクト設定で入力フォーマット、一括フォーマットタブで「'」を“”に変更する」にチェックが入っていると自動的に全角の[""]ダブルコーテーションになってしまいますのでチェックを外して下さい。
- (2) バーコードデータとして取得する文字列内に[""]（ダブルコーテーション）を入れる場合は2つ連続で入力して下さい。  
例：“123456”“ABC”“789”
- (3) バーコードデータとして取得する文字列はカーソルのある文字からページの最後の文字に向かって、最初に見つかった[""]で囲まれている文字列となります。
- (4) WORD を起動しようとしたがエラーになって WORD が起動しなくなった場合は、Windows がインストールされているドライブの  
[Documents and Settings¥ログイン名¥Application Data¥Microsoft¥Templates]  
にある「Normal.dot」ファイルを削除して下さい。  
  
例：Windows が[C]ドライブにインストールされていて「TEST」という名前でログインしている場合  
C:¥Documents and Settings¥TEST¥Application Data¥Microsoft¥Templates



## 対応 OS

- ・ Windows XP
- ・ Windows Server 2003
- ・ Windows Vista
- ・ Windows Server 2008 / Windows Server 2008 R2
- ・ Windows 7
- ・ Windows 8 / Windows 8.1
- ・ Windows Server 2012 / Windows Server 2012 R2
- ・ Windows 10
- ・ Windows Server 2016

## 動作環境

Microsoft Office 対応バージョン (※32 ビット版のみ)

- ・ Office 2000
- ・ Office XP
- ・ Office 2003
- ・ Office 2007
- ・ Office 2010
- ・ Office 2013
- ・ Office 2016

## 標準価格

KDbarcode\_datamatrix (バーコード作成)

ライセンス数	価格(税抜き)
1	3 万円
5	10 万円
10	20 万円
20	30 万円
30	40 万円
50	50 万円
100	80 万円